

【検証授業Ⅱ】

知立市立知立西小学校 6年

1 単 元 武士の世を安定させたのは誰だ！

2 単元について

本学級の児童に対して6月に社会科に関するアンケート調査を実施したところ、「社会科は好きな教科である」について肯定的な回答が約80%であった。この回答に児童は「調べたりまとめたりする学習が好きである」の項目に高い値を示している。しかし、「学習問題を見付けることが得意である」の項目には非常に低い値であった。のことから本学級の児童は、社会科学習に対して意欲的に取り組もうとする姿勢があるが、自ら問題を見付け、調べることによって主体的に問題を解決するまでには至っていないことが分かった。したがって本単元では、話し合い活動を取り入れた問題解決型の単元を設定することにした。

単元の導入は、年表を用いて江戸時代の長さを確認する。また、長篠合戦図屏風や江戸図屏風を見て、短期間の時代の変化を読み取る。これらの活動から提起される「3人の武将はどのように安定した武士の世の中を築いたのだろうか」という疑問を取り上げ、単元を貫く学習問題として設定したい。そして、発展的な段階として参勤交代という制度が幕府や大名だけでなく、池鯉鮒（ちりゅう）の宿場町に暮らす庶民にとってどのような意義があったのかについて考える場面を設定する。これらの意見を表現し合う場を設定することにより、新たな理解が導き出され、歴史的事象を違う立場から捉え、社会科において自ら考え、表現することができる児童が育成されると考える。

3 単元目標と評価規準

(1) 単元目標

キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一、家康の江戸幕府の始まり、参勤交代、鎖国とそれに関わる人物の働きや代表的な文化遺産から学習問題を見いだし、文化財、地図や年表、その他の資料を活用して調べたことをまとめるとともに、戦国の世が統一され、身分制度が確立して武士による政治が安定したことを理解し、それらのことやそれらに関わる人物の願いや働き、代表的な文化遺産の意味について思考・判断したことを的確に表現する。

(2) 評価規準

	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象について の知識・理解
評 価 規 準	<p>①全国天下統一への信長、秀吉、家康の働き、江戸時代の人々の暮らしや文化などに関心をもち、意欲的に調べようとしている。</p> <p>②江戸幕府の始まり、参勤交代、鎖国とそれらに関わる人物の働きについて関心をもち、進んで調べようとしている。</p>	<p>①キリスト教の伝来や織田・豊臣の全国統一、江戸幕府の始まり、参勤交代や身分制度や鎖国について、学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。</p> <p>②戦国の世が統一され、身分制度が確立して武士による政治が安定したことについて、民衆の立場からも考え方を判断し、適切に表現している。</p>	<p>キリスト教の伝来や織田・豊臣の全国統一、江戸幕府の政治の仕組みや暮らしの様子について、絵図、池鯉鮒（ちりゅう）の古地図や年表、その他の資料を活用して具体的に調べ、まとめている。</p>	<p>①織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の3人の武将によって全国が統一されたことが分かっている。</p> <p>②江戸幕府によって世の中を支配する仕組みが整えられ、身分制度が確立して武士による政治が安定したことが分かっている。</p>

(3) 単元計画と評価計画 (19 時間完了)

時	主な学習内容と学習活動	おおむね満足 (B)	十分満足 (A)
第一次「三武将の魅力を探れ」 気付く【齊】 ①	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飛鳥時代からの年表を提示して、これから学習する時代を確認する。 ○ 安定した武士の世の中が確立されるきっかけとなった長篠の戦いについて、長篠合戦図(1575)から話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長が鉄砲を駆使する戦術を使って武田軍を破り、主導権を握った。 ○ 江戸図屏風(1640頃)を見て、気付いたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・長篠の戦いから約65年後には安定した武士の世の中になっている。 ○ どのように安定した武士の世の中が築かれていったのかを調べるため、3人の武将のうち、一人を選ぶ。 	<p>関① 合戦図を見て、織田信長の戦略について興味をもって考えている。</p> <p>関① 江戸図屏風を見て、武士の世の中の安定について興味をもって考えている。</p> <p>思① 3人の武将について関心をもち、誰について調べるのかを考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合戦図を見て、織田信長の戦略について興味をもち、火縄銃や馬防柵の在り方について考えている。 ・江戸図屏風を見て、武士の世の中の安定について理由を示しながら興味をもって考えている。 ・3人の武将について関心をもち、誰の何について調べるのかを考えている。
3人の武将はどのように安定した武士の世の中を築いたのだろうか。			
調べるⅠ【個】 ② ③	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題について調べる。 A 織田信長が行ったことをまとめる。 B 豊臣秀吉が行ったことをまとめる。 C 徳川家康が行ったことをまとめる。 	<p>関① 自分の選んだ武将の業績について調べようとしている。</p> <p>技：自分の選んだ武将の働きについて、年表や地図などの資料を活用して調べ、それぞれが全国統一に向けてとった具体的な手立てを読み取ってまとめている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ武将の業績と考え方について調べようとしている。 ・自分の選んだ武将の働きについて、年表や地図などの資料を活用して調べ、それぞれが全国統一に向けてとった具体的な手立てを読み取ってまとめている。
調べるⅡ【齊】 ④ ⑤ ⑥	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べたことを発表する。 A 織田信長が行ったことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・安土城を築いて楽市楽座を設け、商工業を発展させた。 ・南蛮貿易を行い、進んだ文化や品物をもたらした。 ・キリスト教を保護し、寺社の勢力を抑えた。 	<p>知① 織田信長が商業都市を支配しながら商業や工業の発展を促進させるとともに、キリスト教を保護して外国の新しい文化や情報を取り入れていたことが分かる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・織田信長が商業都市を支配しながら特権を廃止し、自由に商業や工業の発展を促進させるとともに、仏教勢力に対抗してキリスト教を保護し、外国の新しい文化や情報を取り入れていたことが分かる。

	B 豊臣秀吉が行ったことを発表する。 <ul style="list-style-type: none">・検地や刀狩を行い、農民を統制する。・金銀の鉱山を支配する。・武士と農民・町人の身分を区別し、武士が支配する仕組みを整えた。	知① 豊臣秀吉が検地や刀狩によって農民を統制し、武士が支配する体制を整えていったことを理解している。	・豊臣秀吉が検地によって年貢を確実にとれるようにし、刀狩によって反抗できなくすることによって農民を統制し、武士が支配する体制を整えていったことを理解している。
	C 徳川家康が行ったことを発表する。 <ul style="list-style-type: none">・関ヶ原の戦いに勝利する。・江戸幕府を開き、江戸を中心とした支配体制を整える。・大名を従えて、戦いのない安定した世の中をつくる。	知① 徳川家康が江戸に幕府を開き、幕府による全国支配の基礎をつくったことを理解している。	・徳川家康が江戸に幕府を開き、城下町をつくって江戸を栄えさせるとともに、幕府による全国支配の基礎をつくったことを理解している。
まとめ 【個々】 ⑦ ⑧	○ 3人の武将の業績について表にまとめ、武将の取組について評価する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">武士の世の中を確立させたMV B（最優秀武将）を決めよう。</div>		
	○ 学習問題を話し合う。 <ul style="list-style-type: none">・信長は鉄砲、戦術、楽市楽座などを取り入れて世の中を変えていった。・秀吉は全国を統一し、武士の身分（兵農分離）を確立させた。・家康は江戸幕府を開いて平和な世の中にするために基礎づくりをした。	思② 学習したことを基にそれぞれの武将の業績について振り返り、自分の考えや根拠となる事柄を適切に表現している。	・武将の業績について、他の武将と比較しながら、そのよさを判断して、それらを自分の考えの根拠として適切に表現している。
第二次 「江戸幕府の政策と人々」	○ 江戸時代の浮世絵を見て、昔の知立を想像し、東海道の宿場町だったことを知る。 <ul style="list-style-type: none">・知立は東海道の宿場町で多くの人が往来していた。 ○ 加賀藩の参勤交代図を見て、大名行列について気が付いたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none">・知立を通って大名行列が江戸に向かっていた。・大名行列は何のために行われたのか。	関① 知立が「池鯉鮒」として東海道の宿場町だったこと、参勤交代図を見て、江戸時代の人々の往来について関心をもっている。 思① 徳川幕府が築いた支配体制の在り方について学習問題を考えている。	・知立が「池鯉鮒」として東海道の宿場町だったこと、参勤交代図の細かい部分を指摘しながら見て、江戸時代の人々の往来について関心をもっている。 ・徳川幕府が築いた支配体制の在り方について、大名行列の意義を考えながら学習問題を考えている。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">幕府はどのようにして武士の世の中を安定させていったのだろう。</div>		

調べるⅠ 【個】 ⑩ 【グ】 ⑪	<p>○ 学習問題について調べる。</p> <p>A 大名の配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの大名が取り潰しや領地を換えられた。 <p>B 武家諸法度について</p> <ul style="list-style-type: none"> 厳しい定めを行って、全国の大名を取り締まつた。 <p>C 参勤交代について</p> <ul style="list-style-type: none"> 大名は行列を従い江戸に挨拶に行って、自分の妻子などを人質として江戸の屋敷に住まわせた。 <p>D 身分制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> 身分によって職業や住む場所のほか、税の負担が決められ、代々引き継がれた。 	<p>技： 幕府が大名を支配していった様子について、参勤交代などの諸政策を調べ、ノートに記述している。</p> <p>知② 武家諸法度や参勤交代の制度による支配の仕組みを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幕府が、大名統制を行った理由を調べ、それらの政策の効果について考えている。また、今までの武士政権との違いを見いだし、ノートに記述したり、発言したりしている。 武家諸法度や参勤交代の制度により支配が強化され、江戸幕府が長く続く要因になったことを理解している。
	<p>E キリスト教禁止について</p> <ul style="list-style-type: none"> 天草一揆をきっかけに絵踏みを取り入れて厳しく取り締まつた。 信者たちが幕府の命令に従わなくなることを恐れた。 	<p>技： 幕府がキリストの禁止や鎖国を行った様子を資料から読み取り、ノートなどにまとめている。</p> <p>知② キリスト教禁止の過程や鎖国下による貿易の仕組みについて理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幕府がキリスト教の禁止や鎖国を行った様子を資料から読み取り、武士政権の安定化が図られたことをノートなどにまとめている。 島原の乱をきっかけにしたキリスト教禁止の過程や出島での鎖国下によるオランダとの貿易について詳しく理解している。
	<p>F 鎖国について</p> <ul style="list-style-type: none"> オランダと中国に限り、出島で貿易を行つた。 貿易相手をキリスト教の伝播の恐れのないオランダと中国に限定し、その出入りを長崎に限定して貿易の利益を独占した。 		
	<p>○ 大名の統制（A B C）について調べたことを発表し、制度の意義を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大名の力を弱め、幕府が大名を統制できるようになった。 	<p>知② 大名統制を通して、徳川幕府の力が強まり、政治が安定したことを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな大名統制とその効果を考えることを通して、徳川幕府の力が強まり、政治が安定したことを理解している。

【斎】 ⑫ ⑬ ⑭	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農民・町人の統制（D）について調べたことを発表し、制度の意義について考える。 ・身分を分けることで、力の差を示し、武士の支配を強めた。 	<p>知② 農民・町人の統制を通して、身分制度が確立し、武士による政治が安定したことを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農民・町人の厳しい統制とその効果を考えることを通して、身分制度が確立し、武士による政治が安定したことを理解している。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宗教の統制（E）や鎖国（F）について調べたことを発表し、制度の意義について考える。 ・キリスト教の禁止や鎖国は幕府の支配の安定化につながった。 	<p>知② 宗教の統制や鎖国を通して幕府への不満が起こらない体制を確立して、武士による政治が安定したことを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教の統制や鎖国とその効果を考えることを通して幕府への不満が起こらない体制を確立して、武士による政治が安定したことを理解している。
まとめる 【個】 ⑮ ⑯ 【斎】 ⑰	江戸幕府は、なぜ長く続いたのだろう。		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幕府の政策に対する民衆・大名・武士にとってプラス面・マイナス面を表にまとめる。 ○ 江戸幕府を長続きさせるために有効だったと思う政策について考える。 	<p>思② 江戸幕府の政治が安定した理由を、これまで調べてきたことを踏まえて、自分の考えを書いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の政治が安定した理由を、それぞれの政策のプラス面やマイナス面を考え、これまで調べてきたことを踏まえて、自分の考えを書いている。
第三次 「池鯉鮒宿に生きた人々」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 池鯉鮒宿の古地図を見て、当時の住人の生活を考える。 ・たくさんの宿があつて、多くの武士や旅人が宿泊した。 ・大名に対して失礼がないように、気をつかっていた。 	<p>関① 池鯉鮒宿の資料から気が付いたことや疑問、自分の課題を見付けようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・池鯉鮒宿の資料から気が付いたことや疑問を、当時の人々に想いを巡らせながら、自分の課題を見付けようとしている。
	池鯉鮒宿の住人は武士の世の中をどのように思っていたのだろう。		
まとめる 【個】 ⑯ 【斎】 ⑯	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知立市史を要約した資料を読んで、自分の意見をまとめよう。 ・岡崎や宮にはさまれていて、宿場の経営は大変だった。 ・農民が荷役に借り出されていて、苦労していた。 	<p>技： 池鯉鮒宿の宿場町に関する資料を読み、池鯉鮒宿の特徴をノートにまとめている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・池鯉鮒宿の宿場町に関する資料を読み、池鯉鮒宿の特徴を宿場町の人々の思いを想像しながらノートにまとめている。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 池鯉鮒宿の住人の気持ちを考えよう。 ・多くの大名に宿泊してほしいと考えていた。 ・農民は農繁期にはやめてほしいと願っていた。 ・町民は税金をまけてほしいと願っていた。 	<p>思② 大名行列を支えた宿場町の機能を踏まえて、宿場町の住人の気持ちを考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大名行列を支えた宿場町の機能を踏まえて、住民にとって苦労していた事象にも触れながら、宿場町の住人の気持ちを考えている。

【斎】一斎学習 【個】個別学習 【ペ】ペア学習 【グ】グループ学習

4 指導実践事例 第一次「三武将の魅力を探れ」まとめる（問題解決）【一斉】⑧

(1) 目標

- ・学習したことを基にそれぞれの武将の業績について振り返り、自分の考えを根拠となる事柄を明確にしながら表現できる。（思考・判断・表現）

(2) 準備

- ・教師 ワークシート（振り返り）
- ・児童 これまでの一人調べの資料 教科書 資料集 社会科ファイル

(3) 指導過程

時間	児童の活動	教師の活動（・教師の支援）
4	1 前時までの学習内容を確認する。	・簡易年表を使い、「3人の武将はどのように安定した武士の世の中を築いたのだろうか」について調べてきたことを思い出せるようにする。
1	2 本時の学習課題を確認する。	
	武士の世の中を確立させたMVB（最優秀武将）を決めよう。	
30	<p>3 発表を行う。 (織田信長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三武将の中で一番早く天下統一をめざしたことがすごい。 ・楽市楽座をやって誰でも商売できるようになった。 (豊臣秀吉) <ul style="list-style-type: none"> ・検地や刀狩によって農民と武士の区別を行い、大阪城を築いた。 ・太閤検地と刀狩で農業政策と兵農分離を行い、農民の人たちが苦しまないようにした。 (徳川家康) <ul style="list-style-type: none"> ・江戸を栄えさせた。我慢強い性格。 ・一番長く平和な幕府を200年以上も続けている。 ・全国統一をして安定した武士の世の中を築いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠となる資料を明確にし、ワークシートを使って発言することをおさえる。 ・話型を意識しながら、できるだけ関連して発表するように声をかける。 ・徳川家康への支持のみに終始しないように織田信長、豊臣秀吉を支持する意見をもつ児童を意図的に指名する。 ・それぞれの武将が行った代表的な業績をカードで示し、その業績について評価を加えて発言するように助言する。 <p>織田信長 楽市・楽座 キリスト教の保護 商業都市の支配</p> <p>豊臣秀吉 刀狩 検地 身分制度の確立</p> <p>徳川家康 江戸幕府を開く 参勤交代 一国一城令</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの業績についての反論はないか、また、その反論に対して意見がないかを問い合わせ、自分が支持する武将のことのみの発表にならないようにする。 ・授業中、発言できなかった児童を意図的に指名する。 ・友達の発表を聞いて感じたことを書き、授業の前と後での自分の変容に気付けるようにする。
10	4 学習の振り返りを行い、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・三武将の活躍が安定した武士の世の中を築いたことがわかった。 ・徳川家康の努力が次の世代に受け継がれていった。 	

(4) 評価

- ・学習したことを基にそれぞれの武将の業績について振り返り、三武将を比較して自分の考えを根拠となる事柄を明確にして表現できたか、発表やワークシートから判断する。（思考・判断・表現）

第二次「江戸幕府の政策と人々」まとめる（問題解決）【一斉】⑯

（1）目標

- 江戸幕府の政治が安定した理由を、これまで調べてきたことを踏まえて、自分の考えを表現することができる。（思考・判断・表現）

（2）準備

- 教師 ワークシート（振り返り用紙）
- 児童 これまでの一人調べの資料 教科書 資料集 社会科ファイル

（3）指導過程

時間	児童の活動	教師の活動（・教師の支援）
1	1 本時の学習課題を確認する。 江戸幕府は、なぜ長く続いたのだろうか。	
35	<p>2 発表を行う。</p> <p>A 大名の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 外様を遠くに置き、江戸に攻めにくくする。 親藩や譜代に重要な土地を安心して任せることで、信頼関係を築いた。 <p>B 武家諸法度</p> <ul style="list-style-type: none"> 幕府の許可がいるものが多いので、大名は幕府の支配の中で生活していくとても苦しかった。 幕府の力で確実に大名を取り締まった。 幕府の許可がいるのも多く、これに背いた大名は厳しく罰せられた。 <p>C 参勤交代</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの費用を使い、藩の財政に大きな負担となつた。 参勤交代は交通の整備や地方文化の交流に役立つた。 <p>D 身分制度</p> <ul style="list-style-type: none"> 身分制度によって世の中が安定したが身分がかえられない。 農民にいろんなことをやらせて村を良くした。宿場の応援などいろいろな役割をもつていた。 <p>E キリスト教の禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 確実に信者が減ったが、貿易の相手がオランダと中国だけになって、日本人が海外に行けないという点がある。 <p>F 鎖国</p> <ul style="list-style-type: none"> 幕府は貿易による利益を独占できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠となる資料を明確にし、自分がまとめた資料を使って発言することを押さえる。 話型を意識しながら、できるだけ関連して発表するように声をかける。 政策のメリットだけでなく、デメリットもあれば発表するように声をかける。 それぞれの政策について、被支配者の立場から考えるように促し、板書の中に対立構図を示して議論の展開を図る。 資料集にある藩の財政を見て、参勤交代と江戸屋敷にかかる費用が 48%を占めるなどを確認する。 農民が年貢だけでなく、宿場の応援などの課役があったことを知らせ、知立周辺の農民がその役を背負っていたことを連想できるようにする。 鎖国の絵を提示し、オランダとの貿易が出島で行われていたことを連想できるようにする。
9	3 学習の振り返りを行い、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 友達の発表を聞いたりして感じたことを書き、授業の前と後での自分の変容に気付けるようにする。

（4）評価

- 江戸幕府の政治が安定した理由を、これまで調べてきたA～Fの視点を踏まえて、自分の考えを表現することができたか、発表やワークシートから判断する。（思考・判断・表現）

5 実践の流れ

(1) 第一次「三武将の魅力を探れ」 気付く（問題設定）①【一斉】

「三人の武将はどのように安定した武士の世の中を築いたのだろうか」

資料1 の簡易年表を提

示し、江戸時代が長く続いたことに気付かせ、「なぜ江戸時代は長く続いたのだろう」と問いかけた。「平和だった」「支配の制度がうまくいった」「徳川家康のおかげ」という意見が出されたので、「徳川家康の他に知っている戦国武将はいますか」と問いかけたところ、「織田信長」「豊臣秀吉」「武田信玄」らの名前が出てきた。

まず、これらの武将が集った長篠の戦い（1575）の様子が描かれている「長篠合戦図屏風」を提示し、織田軍の新しい戦術や織田信長の下で豊臣秀吉と徳川家康が戦ったことを確認した。

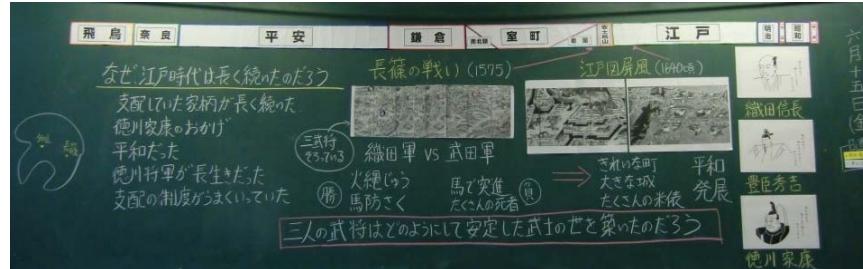
次に、「江戸図屏風」（1640頃）を提示し、安定した江戸の様子に気付かせた上で、「長篠の戦いから約65年後には安定した世の中になっている。3人の武将はどのようにして安定した武士の世の中を築いたのだろう」と問いかけ、三武将について調べる指示をした。

多くの児童は戦国武将に興味をもっており、授業後の感想からは今後の調べ学習に対して意欲を感じられた。児童Aは「私たちの住んでいる近くでとても大きな戦いがあり、こんな有名な3人がいるのは今日、初めて知りました」「3人が何年に何をしていたのか知りたいし調べたい」とワークシート①（資料2）に書き、戦国時代に興味をもった。そして、他の児童も、三武将の性格が表れた俳句には強い関心をもった。そして、それぞれ調べたい武将について、常に「3人の武将は、どのように安定した武士の世の中を築いたのだろうか」を念頭において調べるように促した。

(2) 第一次「三武将の魅力を探れ」 調べるⅠ

（問題追究）【個別】②【グループ】③

資料1 第1時の板書



資料2 児童Aのワークシート①「二つ絵図から分かること」

社会科ノート	名前 _____
1 年表を見て 平安と江戸時代が長い時代	江戸時代は長いのか? 幕府の力が強かったから。天皇が長生きだったから。平和だった。 徳川家康が軍事家として支配していたからが長かった。
2 長篠の合戦図（1575）を見て 1つの固まりで戦っている。 個人で戦っている人はとても少ない。 燃えている（なぜ）川と山に囲まれている。 ・大、五の旗がある。・火縄じゆうを使っている。 ・馬防柵=>織田軍×武田軍	織田信長 豊臣秀吉 徳川家康 3人は何年に何をしていたのか知りたいし調べたい。
3 江戸図屏風（1640）図を見て 川が黒い。家がたくさんあり□になっていて回りはお店になっている。 赤堀がたくさんある。・大きな城がある。	私たちの住んでる近くで亞太も大きな戦いがありこんな有名な3人がいるのは今日初めて知りました。織田は少しいじわるな人だと思いました。私は3人の中で一番徳川家康がやさしい人だなど思いました。江戸にはたくさんの事がおこっていると思うのでこれからたくさん調べていきたいです。

資料3 児童Aのワークシート②「豊臣秀吉の取組」

社会科ノート	名前 ()
学習問題「三人の武将はどのように安定した武士の世の中を築いたのだろうか」	
豊臣秀吉の取り組みについてまとめよう	
1590年（天正8年）に（全国統一）をなしとげる その拠点として（大阪城）を築く	
<豊臣秀吉が行った政策>	
1. 大坂の戦い（1582～1592） 耕作者名を地帳に記録させた もじやなかりを統一した 全国に基準で田畠の面積をもじらべることで年貢を確実に取れるようになった	
2. 刀狩令（1583） 百姓から刀や鉄砲を没収してすべての武器を取り上げて反乱できないようにした 「差し出された刀などは一度くらぎの手のひらの大きさにする」という理由を述べていた。	
(1)と(2)によって社会の仕組みはどうなった？	
・武士と百姓（町人商人職人）という身分が併存する ・武士と百姓…城下町へぼくし ・農民…農村に住む人農夫へ専念す	
秀吉ってこんな人！（その他の政策・エピソードなどを教えておこう）	
・派出好き ・明智光秀を討した ・金城山を支配する ★朝鮮使節（使賈）	

調べたい武将を一人決め、教科書や資料集などを使って、三武将の業績をまとめた。まず、一人調べノートに自分の調べた武将のことをまとめた。児童Aは豊臣秀吉が行った朝鮮侵略や検地、刀狩について箇条書きでまとめた。感想には「いろいろなことをやって努力した人なんだと思いました」と、秀吉の業績に共感する様子が表れていた。また、調べた内容をペアで教え合ったり、グループで伝え合ったりした。その際には、ワークシート②（資料3）に基本事項である語句を教科書や資料集から調べ、学び合っていた。

（3）第一次「三武将の魅力を探れ」 調べるⅡ（問題追究）【一斉】④⑤⑥

ワークシート②（資料3）に記載すべき事項を確認しながら、各武将が行ってきた政策について評価を加え、発表し合った。

児童Aは豊臣秀吉に関して、「太閤検地は不満をもった人もいれば、うれしかった人もいた。結果的にみんなが公平になったのでいい」「刀狩令は人々を少しだましてやったのが少し嫌だ」と書いた。また、みんなの意見を聞いた後の感想では、「秀吉が一番努力したしいいと思ったけど、みんなはそれほどいいとは思っていない」「秀吉の政策は後の家康につながっていった」と書き、自分の意見は友達の意見とは違うが、秀吉は後の世に影響を与えた人であると捉えた（資料4）。これらの思いを基にして、もう一度三武将が行ったことを見直し、安定した武士の世の中を確立することに最も貢献した武将をMVB（最優秀武将）と決めようと問いかけた。

（4）第一次「三武将の魅力を探れ」 まとめる（問題解決）【個別】⑦

武士の世の中を確立した最優秀武将について、三武将の魅力やエピソードも交え、自分の意見を明確にしながら作文にまとめた（資料5）。

（5）第一次「三武将の魅力を探れ」 まとめる

（問題解決）【一斉】⑧

第7時の各自の意見文を交換し合った。話し合いは徳川家康への支持から始まり、続いて豊臣秀吉の評価に及んだ。

児童Aは「農民だったのに天下取りになったのは、ずるいと思うのもあるかもしれないけど、秀吉はそうやって天下取りになるまでに見合う努力をしたから、天下統一ができたと思います」と発言し、豊臣秀吉が低い身分から天下統一を果たした努力を賞賛した。

また、家康は武田軍との戦いで敗北し、その経験を生かして天下が統一されたことが紹介された。家康が苦労しながら江戸幕府を開いたことに共感した児童も多くいた。

再度、豊臣秀吉に話が及んだとき、秀吉の戦い方や朝鮮を攻めたことに対して、「ずる賢い」「欲張りすぎ」というマイナスの評価が出た。それらに対して、C6（児童A）「より自分の力を強めようとして努力し、天下統一を果たせた」という秀吉を擁護する意見も出た。そして、C7「冬の陣では、

資料4 児童Aの授業後の感想

豊臣秀吉はどのようにして安定した武士の世を築いたのかを文章で書いてみよう
太閤検地をすることによって年貢をとり、もうけられたようにして刀狩令では、信長への一揆が起きていたのを知っていたから、行うことができる、安心できるようになつた。ただ、朝鮮と戦おうとしたのは…
あなたは豊臣秀吉の取り組みについてどう思いますか？
太閤検地は不満を持った人もいれば、逆にうれしかった人もいたと思うけれど、結果的にはみんなが公平になったので、いいと思う。刀狩令については、人々を少しだましてやったのが少し嫌だと思つ。
授業の感想を書こう
私は、3武将の中で秀吉が一番努力したし、いいと思つけれど、みんなはそれほどいいとは思っていないと知りました。秀吉のや、た政策は（朝鮮出兵以外）あとの家康につながっていったと思います。

資料5 児童Aの最優秀武将に対する意見文

豊臣秀吉

武士の世の中を確立させた最優秀武将は豊臣秀吉だと思います。

一つ目の理由は、太閤検地を行ったことです。太閤検地では、測量の道具をみんなそろえたことによって国民みんなが公平に税を納めるようになりました。

二つ目の理由は、頭がいいことです。戦上手なことです。味方に付くことが利益で敵を説きふせ、降伏させました。もし、従わないときでも野外での合戦ができるだけさけ、敵を城に閉じ込め、相手ががまんできなくなるまで包囲しました。そうすることで、見方の損害をできる限り少なくしました。その戦法を使ったのが小田原城攻めです。・・・

朝鮮を攻めた秀吉の一族を攻めて、徳川家康がだましたみたいな感じで進めていって・・・」という発言から、当時の武将の戦い方にも触れ、C8～C10で秀吉を再評価する意見が出てきた（資料6）。

資料6 意見交換(豊臣秀吉について)の授業記録

C1	＜豊臣秀吉はするいのか＞ 豊臣秀吉は、する賢いという感じになったかもしれないけど、頭がよかったですから、戦のときに、自分の味方の被害をできるだけ少なくするために、敵を説得してできるだけ野外での合戦を少なくしたのは、秀吉の力にもつながったと思う。
C2	兵農分離を行って、農民の人たちが暮らしやすいようにしたこととした。
C3	検地とかは年貢を納めるようにしたからいいと思うけど、天下統一してから、朝鮮だったかに手を伸ばしたのは欲張りすぎだと思う。
C4	C3の意見に反対で、朝鮮を攻めたのは確かに欲張りなのかもしれないけど、理由はそれだけじゃなくて、朝鮮と友好な関係をつくって、貿易を進めるということもあったと思う。
C5	でも、城攻めにしたというのはちょっとよくないと思う。
C6 (児童A)	C5の意見に反対で、確かにずるいのかもしれないけど、そうすることで、より自分の力を強めようとして努力し、天下統一を果たせたから、別にそれでもいいと思います。
C7	冬の陣では、朝鮮を攻めた秀吉の一族を攻めて、徳川家康がだましたみたいな感じで進めていくて、豊臣家を滅ぼさせたけど、それはそれでしょうがないと思う。
C8	秀吉はあまり好きではなかったけど、家柄が低い身分に生まれて、努力して天下統一を実現したから、すごいなと思いました。
C9	さっきのC6(児童A)に似ていて、朝鮮に攻めたことは、秀吉が力を強めて安定させようと思っていたことは私には分からなかったので、私は家康よりも上じやないかなと思いました。
C10	私は豊臣秀吉を選んだけど、信長が天下統一を目指したから、秀吉がそれを実現できたと思います。

授業の終末では、三武将を新たに再評価する意見が出た。C11では「信長、秀吉がいなかつたら家康も江戸幕府を開くことはできなかった」とし、3人の力が備わって天下を統一できたことが示唆された。また、児童AはC12で、「どの武将にもいいところと悪いところがあるから、全く悪いところがない人はいない」とし、時には策略を用いることで天下を統一した秀吉の能力を評価した（資料7）。

資料7 意見交換(まとめ)の授業記録

C11	＜みんなの意見を聞いて＞ 確かに、最終的に成功したのは家康かもしれないけど、信長、秀吉がいなかつたら家康も江戸幕府を開くことはできなかったと思います。
C12 (児童A)	どの武将にもいいところと悪いところがあるから、全く悪いところがない人はいないと思う。秀吉が言った、「戦は頭でするものだ」という言葉は、するがしこそも時にも必要だという意味も含まれていると思ったから、する賢さを一番多く使ったのは秀吉だと思います。
C13	秀吉は農民とかの低い地位から天下をとったから、調子に乗って朝鮮とかを侵略しようとして、失敗したから悪い方にとったけど、ものさしつか、後に残る、利用されるものを作ったりしたから、悪いところだけじゃないことが分かった。
C14	秀吉はやっぱりすごいと思うけど、家康は今まで信長秀吉の力を借りて天下を取ったように見えたけど、今日、自分が戦いに負けたときの姿を教訓にして、家康が江戸幕府を開くときにたくさん努力をしたということが分かった。
T	そうやってリレー方式で江戸幕府を開いたけど、この江戸幕府がなんで260年続いたのかというところは、まだ詳しく知りません。その3人が成し遂げたことを家康以降、どうやって江戸幕府が築かれたのかということを今度やっていきたいと思います。

資料8 児童Aの授業後の感想

授業後の感想では、児童Aは「どの武将もいいところ、悪いところがある」とし、発言内容を再度感想に書いて、秀吉が時に贤く、頭脳を使って天下統一を成し遂げていたことに感銘を受けていた（資料8）。

ちゃんと考えれば、どの武将にもいいところ、悪いところがあると思います。逆に、全く悪いところのない人はいないと思います。「戦は頭でするものだ」という秀吉の言葉は、「する賢さもなければいけない」という意味も含まれているんだと思います。する賢さを一番うまく使ったのが秀吉だと思います。

(6) 第二次「江戸幕府の政策と人々」 気付く（問題設定）⑨【一斎】

「幕府はどのようにして武士の世の中を安定させていったのだろう」

江戸時代の浮世絵（歌川広重作）を提示した。すると、児童は「池鯉鮒（ちりゆう）と書いてあるから、昔の知立を描いている」ことはすぐに気付いた。しかし、池鯉鮒（ちりゆう）が江戸時代に宿場町で、多くの人々が行き来する交通の要衝であることは知らなかった。

そこで、古地図「東海道分間延絵図（とうかいどうぶんけんのべえず）」の複製を提示して、知立が昔、池鯉鮒（ちりゆう）と呼ばれていて、東海道の宿場町であったことを伝えた（写真1）。また、教科書にある加賀藩の参勤交代図について触れ、このような長い大名行列が、池鯉鮒宿を頻繁に行き来していたことを伝えた。すると、児童Aは「知立はいろいろな人が通っていて、意外と発展していたんだな」と書き、地域を見直すことができた。また、「何のためにこんなことをしたのか知りたい」と、大名行列について興味をもった。

そこで、大名行列などの江戸幕府の政策について調べ、それがどのような効果となって幕府を長く維持できたのかという学習問題を設定した。

(7) 第二次「江戸幕府の政策と人々」

調べるI (問題追究) 【個別】⑩【グループ】⑪

調べるII (問題追究) 【一斉】⑫⑬⑭

江戸幕府が行った代表的な政策をワークシートに提示し、記載すべき事項を確認しながら、それらの政策について評価を加え、発表した。ワークシートは資料の読み取りを重視した。

< A 「大名の配置」と B 「武家諸法度」について >

ワークシート③（資料9）では、大名の配置や取り潰された大名の数のグラフ、そして武家諸法度の資料を読み取った。児童Aは「参勤交代は妻子が人質にとられ、遠い国の大名は大変だった。なぜそんなことをさせたのだろう」と書いた。また、友達の意見を聞く中で、「外様以外の大名も反乱を起こさなかつたのか」という疑問をもつた。さらに、意見を聞くことで、「幕府はいろいろな工夫をして世の中を安定させていったんだと思います」と書くに至った。このように、意見交換を行うことにより、幕府の政策に対する考えが深まっていった。

資料9 児童Aのワークシート③「大名の支配」

学習問題 「江戸幕府はどのようにして武士の世の中を安定させていったのだろう。」 ～ 大名の支配について ～																																																		
A 大名の配置	B 武家諸法度																																																	
<p>江戸の近くや重要な土地に配置 (親藩) 徳川氏一族の大名 (譜代) 大名・・・開ヶ原の戦い以前から徳川氏に従った大名 江戸から遠い地域に配置 (外様) 大名・・・開ヶ原の戦い以後に徳川氏に従った大名</p> <p>○徳川家康や三代将軍の徳川家光は、大名の配置をどのように工夫したかを文章で説明しよう。 親藩や譜代大名は、信用があるから重要な土地や江戸の近くにおき、外様大名は江戸から遠い場所においてた。</p> <p>(徳川家光)</p>	<p>武家諸法度は、1615年に、幕府が大名を取りしまるために出した決まりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学問や武芸にはげみなさい。 ◆ 毎年四月に(参勤交代)をしなさい。連れてくる家来は、自分の身分に合った人数にしなさい。 ◆ 勝手に(城)をつくってはいけない。(城)の修理も、幕府の許しを得てからにしなさい。 ◆ 幕府の許可なく、大名どうしで(結婚)してはいけない。 ◆ 500石以上の(大船)をつくってはいけない。 <p>徳川幕府の大名の支配について、どう思いますか？</p> <p>○ 大きな配置の仕方は安全安心だからいいと思います。でも、参勤交代は妻子を人質にとったり遠い国の大名は大変だったので、なぜそんなことをさせたのだろうと思いません。</p> <p>みんなの意見を聞いて！</p> <p>武家諸法度で大名が守るようにになったというのは、私も賛成です。でも、このルールの中にはかくでだろ？と思うものもあるので、外様以外の大名でも反乱を起こさなかったのかと思いません。</p> <p>授業の感想を書こう</p> <p>家康っこは外様は味方になったばかりなので外様のとりっぴしか大きいけれど、後になつてくると親藩、譜代が多くなっているのは、武家諸法度がきっかけだと思います。外様が九州に多いけれど、なぜ九州は重要でなかったのだろうと思いまして。幕府はいろいろな工夫をして世の中を安定させていたんだと思います。</p>																																																	
<p>取りつぶされた大名の数 → → →</p> <table border="1"> <tr> <th>第一回</th> <th>第二回</th> <th>第三回</th> <th>第四回</th> <th>第五回</th> <th>第六回</th> <th>第七回</th> <th>第八回</th> <th>第九回</th> <th>第十回</th> </tr> <tr> <td>91家</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>39家</td> <td>21家</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1家</td> </tr> <tr> <td>40家</td> <td>27家</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15家</td> <td>16家</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>気がついたこと</p> <p>家康のころは外様が多いけれど、あとになっていくにつれて親藩や譜代もつぶやされるようになった</p>	第一回	第二回	第三回	第四回	第五回	第六回	第七回	第八回	第九回	第十回	91家										39家	21家								1家	40家	27家									15家	16家								
第一回	第二回	第三回	第四回	第五回	第六回	第七回	第八回	第九回	第十回																																									
91家																																																		
39家	21家								1家																																									
40家	27家																																																	
15家	16家																																																	

写真1 「東海道分間延絵図」を見る児童



<C「参勤交代」について>

ワークシート④(資料10)では、参勤交代にかかる費用や、大名列にかかる日数を示した。児童Aは「なぜ幕府はそんなことをしたのか不思議です」と書いた。この疑問はここでは明らかにせず、後の「江戸幕府はなぜ長く続いたのか」において詳しく考えさせることにした。

また、池鯉鮒宿に大名列が通っている浮世絵を提示したところ、児童は茶店の前で土下座をしている町民の姿に注目した。そして、大名列が権威のあるものとして通行していることから、「池鯉鮒宿の人々は大名列が来てほしかったのか」ということが話題となり、大名列が宿場町の経済にとって重要であることが意識された。児童Aは「池鯉鮒宿の宿は周りがどのような環境だったのかと思思います」と感想を書き、池鯉鮒宿の様子に興味をもつことができた。

資料10 児童Aのワークシート④「大名列」

学習問題「江戸幕府はどのようにして武士の世の中を安定させていったのだろう。」
～ 大名の支配について（参勤交代）～

C 参勤交代

【参勤交代とは】

江戸幕府が大名を取りしめるために定めた制度の一つ。大名は（ ）年ごとに江戸と（ ）を往復すること。大名の妻や子は、（ ）として江戸のやしきに住むことが決められました。

下のグラフを見て、気がついたことはありますか。

国もとと参勤交代、江戸やしきを合せたものはほぼ同じ

下の日本地図を見て、気がついたことはありますか。

歩いていくとすごくたくさんの日数がかかるので大変だと思います。

江戸幕府の宿場にも大名行列は通っていた。

参勤交代について、どう思いますか？

遠い国だと大変だし妻や子も大変でつらいと思うのでなぜ幕府はこんなことをしたのかがひしひぎです。

友達の意見を聞いて

もし、土下座するのかいやだからやらなかたら自分たちの町を大名がさらってあまり物を買ったりしてくれなくなるかもしないからやったと思います。

授業の感想を書こう

池鯉鮒の宿はまわりがどのような環境だかのつかないからと思います。前後の宿が遠いなら店によってくれる大名も多かったと思うし、近くに大変なところがいあれば手伝って好感を持ててもうえるからです。

<D「身分制度」について>

身分制度では、幕府による農民の支配について、身分ごとの人口の割合を提示して、わずか7%の武士が残りの93%の人々を支配していることを知らせた。また、農民のきまりと身分は基本的には変えることができないことを強調した。

児童Aは友達の意見を聞き、「何でもかんでも制限されて、ほとんど自由はなかった」と書き、当時の農民の生活を想像した。また、「身分制度をつくることで差別されて大変な人もいれば、武士のように楽な生活をする人もいて、うらやましいと思っている人もいたと思います」と書いた(資料11)。

資料11 児童Aの授業後の感想

江戸時代の百姓の生活についてどう思うか書こう。

農民はがんばっていいともいい思いができるないようには幕府に制限されているので、大変だったんだろと思いません。

友達の意見を聞いて

なんでもがんでも制限されて、ほとんど自由はないかたと思います。反乱も本当にいつおこるか分からなくなっちゃったと思います。

授業の感想

大変なところばかりをさせられていた農民は、毎日とても苦しい生活を送っていたんだろと思いません。身分制度をつくることで差別されて大変な人もいれば、武士のように楽な生活をする人もいてうらやましいと思っています。

以上のように、資料を読み取ったり、友達の意見を聞いたりして当時の人々の様子や思いを感じることができた。

資料 12 児童Aのワークシート⑤「身分制度」

学習問題「江戸幕府はどのようにして武士の世の中を安定させていったのだろう。」
～町人の支配について～

D 身分制度について
教科書76Pを読んで（ ）に語句を書こう

武士や町人は、豊臣秀吉の時代から、政治の中心である城下町に集められました。江戸をはじめ、全国につくられた城下町では、大名やその家来たちが住む武家地、寺や神社の地域、町人地など、（身分）によって住む場所が決められました。町人地では、町人たちが町という社会にまとまり、商業や手工業、流通、文化など、さまざまな仕事を営みました。都市には城下町のほか、門前町や（港町）、駿河町などがありました。

池鯉鮒の宿場町にはどのような人々が住んでいたのだろう。<池鯉鮒宿宿並図より>

①旅籠 32件	②茶屋 20件	③奉公人 17件	④日用物 13件
⑤湯屋 2件	⑥質屋 5件	⑦旅館 1件	⑧古かね屋 1件
⑨福屋 2件	⑩曲げ物屋 1件	⑪小間物屋 1件	⑫米屋 1件
⑬和屋 4件	⑭旅店 2件	⑮旅館 2件	⑯旅籠 1件
⑰鍛冶屋 1件	⑲手習師匠 1件		

A次の絵は①～⑩のうちの、どの職業にちなんだ絵だろう。
B ⑨
C ⑦
D ⑧

授業の感想を書こう
知立はにぎわっててよかったですなと思ひます。大名行列は通り過ぎるだけでも旅館ではない店は見てもらえたりするので来てモララのはいいです。あつたかなと思ひます。いろいろな仕事をもつ人がいたんだ!と思いました。

また、ワークシート⑤（資料 12）では、町人の暮らしについては古地図である「池鯉鮒宿宿並図」も提示し、池鯉鮒の宿場町にはどのような人々が暮らしていたのかについて興味をもたせた。児童は古地図に興味津々の様子で観察し、池

鯉鮒の宿場町に 32 件もの旅籠があつたことに驚いた。宿泊施設が予想以上に多くあつたことから、宿場の人々は大名行列で来た人々に宿泊してほしいと願っていたであろうと考えた児童が多くいた。児童Aは、いろいろな店があつたことに驚きながら、「大名行列は通り過ぎるだけでも旅館でない店は見てもらえたりするので、来てもらうのはいいことであったのかなと思ひます」と書いた（資料 12）。

<E 「宗教の統制」について>

授業では、幕府のキリスト教禁止について確認した後、絵踏みの実物資料（複製）を提示し、これが何かを想像させた。児童は「絵踏み」についてすぐに連想できた。しかし、そのような強制的な信仰については、嫌悪感をもつ児童がほとんどであった。児童Aは、「キリスト教をやめさせられたとして

資料 13 児童Aのワークシート⑥「貿易の統制」

F 貿易の統制について
これは一体何だろう？ どんなところだろう？ これは（出島）の絵

今（長崎）につくられた人口の島で、（オランダ）との貿易の場所になった。

江戸幕府の外国への政策のことを（鎖国）という。

外との貿易や交渉を行う場所を厳しく制限したため、貿易で得られる利益や海外からの情報などは、幕府がほぼ独占することになりました。

江戸幕府の貿易の統制についてどう思うか？

宗教を信じることは自由なので一揆という理由だけでやったのか一揆対策をすればいいと思います。貿易を独占してしまうと日本が発展できないと思います。

さん、今貿易にたよっているから昔はどうだったのかといふ意見はなるほどなと思いました。私はその意見を聞いて、武士は足りても農民は苦しかったから一揆を起こしたのかなと思います。昔は一部の人ばかりがいい思いをすることが多かったのだろうと思います。

も、その人は仏教になつても不満はあつたと思います」と書き、当時の人々に思いを寄せて考えていた。しかし、この政策が幕府にとってどのような意味をもつかについては明らかにならなかつたので、後の話し合いにもちこすことになった。

<F 「貿易の統制」について>

ワークシート⑥では、出島の地図を提示し、これがどんなところなのかを問い合わせながら基礎事項を確認した。また、江戸幕府の統制についてどう思うのかを書いて発表した。

児童Aは、「貿易を（幕府が）独占してしまうと日本が発展できない」と考えた。また、友達の発言を聞き、「なるほどなと思いました」と書いた。相互に考えを交換することによって、考えを深めている様子が伺えた（資料13）。また、これまで習ったことを生かして、「江戸幕府はなぜ長く続いたのか」について改めて考え、意見をまとめて発表することにした。

(8) 第二次「江戸幕府はなぜ長く続いたのだろう」まとめ（問題解決）【個別】⑯⑰【一斉】⑯

まず、幕府の政策に対する民衆・大名・武士にとってプラス面・マイナス面を表にまとめた。その後、「江戸幕府はなぜ長く続いたのだろう」というテーマについて、江戸幕府の政策のうち、最も有効であると考えたものを基に資料を活用しながら意見文を書いた。そして、意見交換を行った。児童Aは、大名の配置と武家諸法度について意見文をまとめた（資料14）。

意見交換（資料15）では、授業ではまず、参勤交代のことが話題になり、関ヶ原の戦い以降に家来となつた外様大名に長い距離を歩かせ、大量にお金を使わせて、弱体化する意図があつたということが理解できた。また、参勤交代は街道の整備や地方文化の発展を促すことに寄与することが明らかになつた。その恩恵は当然に池鯉鮒宿にもあつたことが再確認できた。

児童Aは、C15で武家諸法度に触れ、「守りたくないという大名はいたと思うけど、武家諸法度を守らないと自分の土地がつぶされたり、減らされたりするから守るようになったと思う」と発言し、幕府の強大化に従わざるを得なかつた大名の立場を考えた。また、C17で児童は、「昔から仕えていた人はより信頼され、領地をたくさんもらえたりしたから、親藩や譜代は裏切らなかつた」とし、大名の配置が江戸幕府を長く続かせる要因であったことを主張した。

資料15 意見交換（まとめ）の授業記録

<A: 大名の配置 B: 武家諸法度>

C15 (児童A) 武家諸法度を守りたくないという大名はいたと思うけど、武家諸法度を守らないと自分の土地がつぶされたり、減らされたりするから守るようになったと思う。

C16 大名からしたら武家諸法度は幕府の都合にいいものだったから苦しかったけど、幕府にとったら全て幕府の指示で大名が動くから、いい政策だと思う。

C17 外様は裏切りたくても江戸から遠い場所に配置されていて、裏切ろうと思ってもすごい時間がかかるから裏切れなくて、昔から仕えていた人はより信頼され、領地をたくさんもらえたりしたから、親藩や譜代は裏切らなかつたので、効果があつたと思う。

<D: 身分制度>

C18 百姓を土地にしばりつけることで、大名とか武士にとって世の中が平和になって、それによって江戸幕府が安定したと思います。

T2 じゃあ、身分制度はいいことばかり。デメリットはないわけ。

C19 (児童A) 大名は常に自分が一番上で、続けられるかいいけど、百姓や町人はいくらがんばっても上には上がれないというのはとても不満があつたと思う。

C20 百姓や町人よりも更に身分が低い人もいるから、大名にとってはいい制度だけど、それ以外の人にとつてはとてもつらい制度だったと思う。

資料14 児童Aの意見文

江戸幕府はなぜ長く続いたのか

私は、江戸幕府が行った大名の配置と武家諸法度が効果があつたと思います。

江戸幕府は、大名を徳川家の親せきである親藩、古くからの家来である譜代、関が原の戦い後に従つた外様に分けました。資料集を見ると、親藩は江戸から関西にかけて散らばつていて、重要な土地にいます。譜代も、親藩の近くが多く、外様は関西よりも西や東北などの遠い場所に多いことが分かります。江戸幕府は配置を考えることで重要な土地を安心して任せられるようになりました。

さらに、武家諸法度を守らせるためにも大名の配置は使われていて、資料集のようなきまりを守らない大名は取りつぶされたり、領地を変えられたりしました。大名は、自分の領地を守りたいので、武家諸法度を守るようになります。幕府も長続きすることができたと思います。

	<E:キリスト教の禁止, F:鎖国>
T3	キリスト教の禁止と鎖国についてどうですか。
C21	キリスト教を禁止することで、幕府が心配していた命令を聞かずに反発が起きる心配がなくなったと思います。
C22	鎖国をすることで、貿易を独占したので、幕府にはお金がたまつたと思う。
C23	C22に付け足しで、出島という小さい島で貿易する場所が1箇所のため、海外からの貿易や情報が独占できたということもありました。
T4	そうすると、鎖国というのはデメリットがないのかな。
C24	キリスト教を禁止して、ポルトガルとかと貿易しなくなつて、貿易の幅が狭くなつたと思う。これは世界から取り残されることになると思う。
C29	江戸時代は長く続いて、それはいろいろな政策があって、武家諸法度だったり、参勤交代だったり、それらが合わさって長く続いたのだと思う。
C30	武家諸法度が一番効果があるかなと思っていたけど、デメリットもあるし、他の政策も十分効果があつたと思うから、全部合わせて長く続いたのだと思う。

次に、身分制度について話題となった。C18で幕府や武士にとって、農民を土地にしばりつけ、耕作に専念させるのに好都合な制度であることを指摘した。しかし、児童AはC19で「大名は常に自分が一番上で、続けられるかいいけど、農民や町人はいくらがんばっても上には上がれないというのはとても不満があったと思う」と述べ、身分制度の閉鎖性を指摘した。

最後に、キリスト教の禁止と鎖国について意見を述べ合った。キリスト教を禁止することで、天草・島原の乱後は反乱もなくなり、一定の成果を上げたと判断した児童が多かった。しかし、C24で「キリスト教を禁止して、ポルトガルとかと貿易しなくなつて、貿易の幅が狭くなつたと思う。これは世界から取り残されることになると思う」との発言もあり、他の児童も納得した様子であった。幕末の事象につながる重要な意見である。

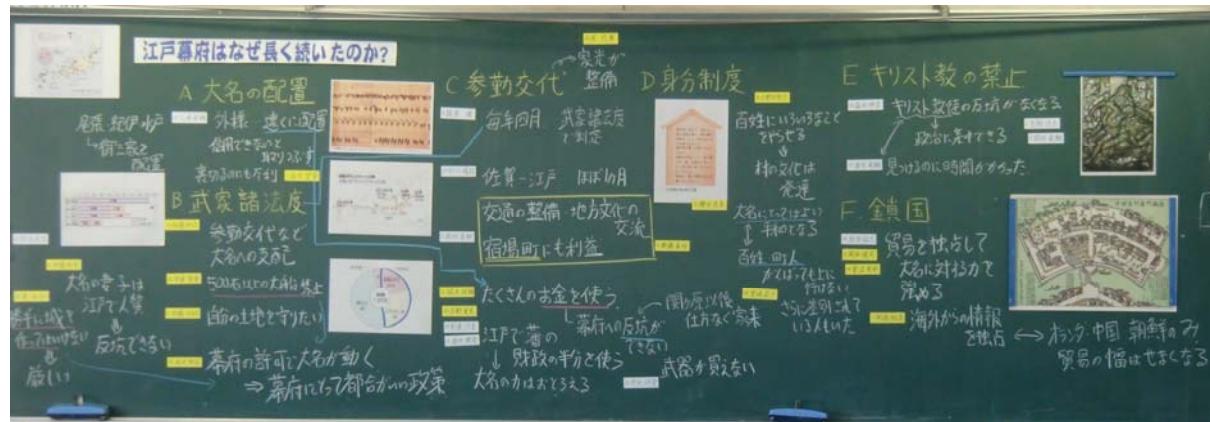
そして、江戸幕府が様々な政策を駆使して全国を統一し続けたことが明らかになった（資料16）。

児童Aは「今までには・・・みんなの意見を聞いていいこともあることに気付きました」「いろいろな見方で見ると、いいことも悪いことも分かってよかったです」と授業後の感想に書き、話し合いによって多面的に物事を捉えることができたことが伺えた（資料17）。

資料17 児童Aの授業後の感想

今までには、参勤交代にいいところはあまりないと思いましたが、みんなの意見を聞いていいこともありますことに気付きました。でも、やっぱり大名の配置や武家諸法度が効果があったと思います。この政策も幕府の自分勝手だらうけれど、大名に武家諸法度を守らせるために、上手に大名の配置を使っていたからだと思います。いろいろな見方で見ると、いいこともわざわざることも分かってよかったです。

資料16 第17時の授業の板書



(9) 第三次「池鯉鮒宿に生きた人々」まとめる（問題解決）⑩【個別】⑪【一斉】

単元の最後に、発展学習として池鯉鮒宿の人々の気持ちを考えることにした。以前、池鯉鮒宿を通る大名行列を描いた浮世絵について、土下座をしている町民の気持ちを考えたが、もう一度「池鯉鮒宿に生きる住人はどのような気持ちで生活していたのだろう」というテーマで考えることにした。また、知立市史の近世「知立の宿場」を児童向けに簡単に訳した資料を使い、各自調べた。

児童Aは、ワークシート⑦に、「宿場の人たちは人馬にお金がかかる」としながらも、「伝馬役をや

れば税金を払わなくてもよくなったりする」と書いた（資料 18）。宿場町には人馬を供給して荷物の継ぎ送りを行う伝馬役や、それを一種の税として行う農民の助郷制度があり、決して暮らしは楽ではなかった。しかし、大名列が宿泊してくれなくては、宿場経営は成り立たない。このようなジレンマを抱えながら生活していた宿場町の人々について、調べ、考えたことを交流した（資料 16）。

授業では、池鯉鮒宿の人々が苦労していた様子が紹介された。また、C33 では日光例幣使について、C37 では琉球使節について、C38 ではお茶壺道中についてもふれた。

資料 18 児童Aのワークシート⑦

○宿場の人が幕府の定めた規則を違反する=とかが多いことは、幕府にとっては悪いことだ。たけれど宿場の人たちは「人馬にお金がかかるからルールを守らずに減らして」と金を節約していく、らしい生活にいたっていた。

今まで宿に泊まってもらうことしかないと思っていたけれど、伝馬役をやれば税金を払わなくてよくなるたりするで、いいこともあったんだと思いました。

資料 19 意見交換（まとめ）の授業記録

- C31 大名が宿に泊まってくれるといいけど、人馬のただ働きが多く、運送費がかなり赤字だったそうです。だから、とても大変だと思いました。
- C32 大名に泊まってくれればもうかるけど、泊まってくれないと土下座するだけだから疲れると思います。
- C33 日光例幣使が来ると、借金して宿代を払わないで、困っていたと思う。来てほしくなかったと思います。
- T1 徳川家康が日光に祭られたので、徳川家康をあがめるために通った行列がある。すごく権威があったんだね。時にはわがまま言ったりする。そういう場合もあったそうだね。
- C34 宿場の人は人馬にお金がかかるからルールを守らずに減らしたけど、そうやって宿場の人は頭を使ってお金を節約して辛い生活に耐えたのだと思います。
- T2 この前も言ったように、荷物を宿場から宿場へ継ぎ送りしていたのだね。だから、そのための馬を常に宿で決められた頭数を飼っておかなくてはいけなかった。でも飼つておくのはすごくお金がかかるから、決められた数よりも少ない数で何とかやっていたということだね。
- C35 旅籠の人は大名が来ないか、夜は寝ずに一晩中ちょうどんを持って見張らなくてはいけない。旅籠の人は一日中大変で、大名列が来た日は辛いと思います。
- C36 旅籠や茶屋は大いにもうかったけど、運送費は赤字で大名にとって負担なので、全体的には負担だったと思います。
- C37 琉球使節も池鯉鮒宿に泊まっていたから、そういう場合は宿ももうかったと思います。
- T3 琉球使節は今の沖縄から来ていた使節だね。
- C38 お茶壺道中はお金も払わず、来るすごく困ったと思います。
- T4 お茶壺道中って分かる？ 何と將軍が飲むお茶を宇治、京都から大名列みたいに運んだ。やはり権威があったから、壺に向かって土下座もしなくてはいけないし、わがまま言っていたみたいだね。
- C39 道路などを無理やり作らせて辛い気持ち。旅籠や茶屋に税金をかけるとお金持ちから借錢するので大変。馬を置いておくと、莫大な費用を使う。幕府に言いなりの生活をしていたこともあります。
- C40 宿場は大名が来るよう努力していたと思う。でも、来れば来たで大変だったと思います。
- C41 交通量が増加し、必要な人馬の数は無制限に割り当てられた。助郷役は命令されれば必ずやらなくてはいけない。いいところも悪いところもありました。
- C42 来れば栄えるので、来てほしい。もうけたりして「うれしい」と思う人が多かったと思います。でも、大名列は「いやだな」と思う人の方が多かったと思います。
- C43 でも、大名列が来てくれたら、すごくうれしい気持ちで生活していたと思います。

意見交換の授業後、児童Aは、「大変だけうれしい時を思い浮かべてがんばって働いていたのかなと思いました」と感想を述べている（資料 17）。どの児童も、苦労しながらも宿場を運営しながら努力している当時の人々の姿を思い描いており、江戸幕府が、名も無き人々の日々の営みによって支えられ、存続したことを感じることができた。

資料 20 児童Aの授業後の感想

大名列はすごく面倒なもんだと思っていてけれど、実はもっと人々にきらわれるようなあるたびは、道中や日光例幣使があって、いい印象のある琉球使節もいるので、大変なときもあれはうれしい時もあって、大変だけうれしい時を思い浮かべてがんばって働いていたのかなと思いました。

6 単元中の観点「思考・判断・表現」の評価におけるルーブリックによる評価事例 (N=31)

時	【思考・判断・表現】におけるルーブリックと評価事例	判定人数		
		A	B	C
①	<p>3人の武将はどのように安定した武士の世の中を築いたのだろうか。 <A判定>3人の武将について関心をもち、誰の<u>何について調べるのか</u>を考えている。 <B判定>3人の武将について関心をもち、誰について調べるのかを考えている。 (例) A 安定した武士の世の中を築くために、織田信長はどんな政治を行ったのかを調べたい。 A 安定した武士の世の中を築くために、織田信長はどんな人物だったのかを調べたい。 B 安定した武士の世の中を築いた織田信長のことを調べたい。 B 織田信長に興味があるから調べたい。 B 織田信長のことを聞いたことがあるから調べたい。 C 織田信長を調べたい。</p> <p><Cを支援する手だて> 3人の武将(織田信長)がどのような人物で、どのような政治を行うことで、天下統一を成し遂げようとしたのか、教科書や資料中の書かれている箇所を示す。</p>	7	16	8
⑧	<p>武士の世の中を確立させたMVB(最優秀武将)を決めよう。 <A判定>武将の業績について、<u>他の武将と比較しながら</u>、そのよさを判断して、それらを自分の考えの根拠として表現している。 <B判定>学習したことを基にそれぞれの武将の業績について振り返り、自分の考えや根拠となる事柄を表現している。 (例) A 信長の楽市楽座は商業を発展させたのでいいと思うが、豊臣秀吉は刀狩や検地を行うことで、確実に年貢を得るばかりでなく、一揆できないようにし、身分制度を確立させたのだから、最も優れた武将だと思う。 A 豊臣秀吉は数々の戦いにも勝利し、武士の身分を確立させて、天下統一を成し遂げたのでいいと思うが、その基礎を築いた織田信長がいなければ、豊臣秀吉の天下統一はなかったと思う。だから、織田信長が最も優れた武将だと思う。 B 織田信長は楽市楽座を行うことで、経済を発展させ、自らの経済的な力を強くして天下統一の基礎を築いたので、最も優れた武将だと思う。 B 豊臣秀吉は刀狩や検地を行うことで、身分制度が確立したのだから、最も優れた武将だと思う。 B 德川家康は小さい頃人質になるなどしたが、我慢を重ねながら数々の戦いに勝利し、最後に安定した江戸幕府を築いたので、最も優れた武将だと思う。 C 德川家康は、やっぱりすごい武将だと思うから最も優れた武将だと思う。</p>	15	11	5
⑨	<p>幕府はどのようにして武士の世の中を安定させていったのだろう。 <A判定>徳川幕府が築いた支配体制の在り方について、<u>大名行列の意義を考えながら</u>学習問題を考えている。 <B判定>徳川幕府が築いた支配体制の在り方について学習問題を考えている。 (例) A 幕府は大名行列のような制度を使って、幕府の権威を保ちながら多くの人々を従えたが、他にどのような政治を行っていたのだろう。 A 幕府が大名行列を行っていたのは、將軍にあいさつをさせることだと思うけど、どうやってそんなことをさせたのか。もっと大名行列やそのほかの制度について調べてみたい。 B 幕府は大名や人々をどのように従えながら政治を行っていたのだろう。 B 大名行列はどのようにして行われていたのだろう。 B 大名行列の他にどのような制度があったのだろう。 C 江戸幕府について調べたい。</p>	8	18	5

	<Cを支援する手だて> 大名列について、なぜそのようなものが行われたと思うかを再度問い合わせ、さらに教科書や資料集中に江戸幕府の様々な政策が書かれている箇所を示す。		
(17)	<p>江戸幕府はなぜ長く続いたのか、幕府の政策を踏まえてまとめよう。</p> <p><A判定>江戸幕府の政治が安定した理由を、<u>それぞれの政策のプラス面やマイナス面を考え</u>、これまで調べてきたことを踏まえて、自分の考えを書いている。</p> <p><B判定>江戸幕府の政治が安定した理由を、これまで調べてきたことを踏まえて、自分の考えを書いている。</p> <p>(例) A 大名列はたいへんなお金を使うために、街道沿いが潤うが、藩の財政を苦しくしてしまった。そのために各藩は幕府に反抗できなくなり、幕府が安定した。 A 武家諸法度は外様などの大名にとっては厳しい内容だったと思うが、これを守らなければ取り潰しにあつたりするので、仕方なく従つたと思う。これが幕府の安定につながったと思う。 B 大名列などにより、江戸幕府に反抗できなくなり、幕府が安定した。 C 身分制度は、農民や町民にとって厳しく、武士の身分が確立して幕府の安定につながった。 B 鎮国を行うことで、貿易上の利益を独占することができ、幕府の安定につながった。 C 身分制度や大名列のおかげで江戸幕府が長く続いた理由が分かった。</p>	16	9 ★記録に残す評価 6
(19)	<p>池鯉鮒宿の住人は武士の世の中をどのように思っていたのだろう。</p> <p><A判定>池鯉鮒宿の宿場町に生きた人々の思いを、<u>宿場機能を維持する際の苦労も理解しながら想像している</u>。</p> <p><B判定>池鯉鮒宿の宿場町に生きた人々の思いを想像している。</p> <p>(例) A 池鯉鮒宿の人々は、荷物の継ぎ送りに苦労しながらも、多くの大名列や旅人に宿泊して、宿場町がもうかってほしいと思い、努力をしていた。 A 宿場町の人々は、お茶壺道中や日光例幣使の横暴に苦慮しながらも、大名が多く宿泊してもうかることができるよう、努力をしていた。 B 池鯉鮒宿の人々は、多くの大名列や旅人に宿泊してほしいと願っていた。 B 宿場町の人々は、苦労してもお金がもうかるとうれしいから、懸命に働いていた。 B 宿場町の人々は大名が泊まってくれるとうれしいが、負担も大きいのでいやだと思っていた。 C 大名列が来るときは土下座していなくてはいけないので、来てほしくなかったと思う。</p>	15	10 ★記録に残す評価 5

7 単元定着後評価

単元終了時に事後テストとその2か月後に保持テストを行った。それぞれ予告なしで、教科書やノート、ワークシートを参考にさせず、テストの時間は20分間とした。また、設問②の使用させたい語句は提示せず、文章表現をする記述式のテストで実施した。

設問① 織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の誰か一人を選び、三つの語句について説明しながら、その武将がどのように国をまとめていったかを書きなさい。また、その武将についてどう思うかを、理由を付けて述べなさい。

<語句>

- 織田信長・・・楽市楽座 商業都市の支配 キリスト教
- 豊臣秀吉・・・刀狩 檢地 武士と農民の身分が明確になる
- 徳川家康・・・江戸幕府 征夷大將軍 一国一城令

★ 使用したルーブリックと判定結果

判定	設問①における思考・判断・表現の段階	判定人数(N=31)	
		事後テスト	保持テスト
A	3点の語句について関連付けて説明し、その武将についてどのように思ったかが書いている。	12	14
B	1点～2点の語句について関連付けて説明できる。または、語句を列挙し、その武将についてどのように思ったかが書いている。	16	13
C	1点の語句も説明できない。または、その武将についてどのように思ったかのみ書いている。	3	4

★ 解答例A

○織田信長

- ・楽市楽座を行い、誰でも自由な商売ができるようにしました。また、商業都市の支配によって税金を集め、鉄砲や軍備を整えていきました。さらに、キリスト教を保護して、仏教勢力に対抗しました。私はこのように効果を上げた政策を行い、天下統一を目指した織田信長はすごいと思いました。

○豊臣秀吉

- ・刀狩を行い、農民が武器をとって反抗できなくしました。また、検地を行って田畠の面積を記録し、年貢を確実にとれるようにしました。そして、これによって農民は武士に反抗できなくなり、身分の確定と兵農分離がおこり、武士と農民の区別をはっきりさせることになりました。私は織田信長の意志を受け継ぎ、努力することによって、秀吉は天下統一を成し遂げることができたのだと思いました。

○徳川家康

- ・江戸に150年続く江戸幕府を開き、武士の総大将である征夷大將軍となって江戸を中心とする政治を行いました。また、一国一城令を出して、大名以外の城を取り壊すことで、幕府に反抗する勢力をどんどん減らしていました。家康はこのような政策を行うことで江戸幕府が長く続く土台をついたので、頭がいい人だと思いました。

★ 解答例B

○織田信長

- ・楽市楽座を行い、誰でも自由に商売ができるようにしました。そして商業都市の支配を行って、力を強めていきました。また、キリスト教の保護を行い、西洋文化を取り入れていきました。楽市楽座とキリスト教の保護は人々を幸せにしたからよかったけど、商業都市の支配は人々に不利益だったと思うので、よくなかったと思います。

○豊臣秀吉

- ・全国で刀狩や検地を行いました。それによって武士と農民の身分が明確になりました。農民はいくらがんばっても農民から抜け出すことができずに、不満があったと思います。しかし、天下を統一して戦国の世を終わらせた点はいいと思います。秀吉はとても頭がいい人だと思いました。

○徳川家康

- ・江戸幕府を開き、征夷大將軍となりました。そして、一国一城令を出して多くの城を破壊し、大名の力を弱くしていきました。家康は優しい人だという評価もあるけれど、時には冷たく大名にあたりながら自分の力を強めていき、全国を支配していったのだと思いました。

★ 解答例C

○織田信長

- ・織田信長は樂市楽座や商業都市の支配し、天下統一を目指して武田軍の戦いに勝ちました。最後は死んでしまったけど、その思いは豊臣秀吉に受け継がれたと思います。

○豊臣秀吉

- ・豊臣秀吉は貧しい身分から努力して天下統一を果たしました。すごいことだと思いました。

○徳川家康

- ・徳川家康は江戸幕府を長く続かせて、すごいと思いました。我慢強かったです。

設問② 江戸幕府のさまざまな政策について、下のどれか一つ（関連したものであれば二つ以上も可）を選び、その政策がどのように行われ、江戸幕府にとってどのようなよさがあったのか（またはよくない点があったのか）を書きなさい。また、その政策について自分がどう思うのかを書きなさい。

＜政策＞ 大名の配置 武家諸法度 参勤交代 身分制度 キリスト教の禁止 鎮国

★ 使用したルーブリックと判定結果

判定	設問②における思考・判断・表現の段階	判定人数(N=31)	
		事後テスト	保持テスト
A	3点の事柄について関連付けて説明し、その政策についてどのように思ったかが書いている。	12	14
B	1点～2点の事柄について関連付けて説明できる。または、3点の事柄を列挙し、その政策についてどのように思ったかが書いている。	15	13
C	1点の事柄も説明できない。または、その政策についてどのように思ったのかのみ書いている。	4	4

＜使用させたい語句＞

- | | |
|----------|--|
| 大名の配置 | …親藩、譜代、外様、関ヶ原の戦い、武家諸法度、参勤交代、領地替え |
| 武家諸法度 | …参勤交代、勝手に城、500石以上の大船、大名同士で結婚、幕府の許し |
| 参勤交代 | …大名列、武家諸法度、多額の資金、人質、外様、地方文化の発達、交通整備 |
| 身分制度 | …7%の武士、身分を変えられない、朝から晩まで働く、麻と木綿、酒・茶、はた織、麦・あわ・ひえ |
| キリスト教の禁止 | …幕府への反抗、宣教師、絵踏み、天草・島原の乱（大きな一揆）、鎖国、隠れて信仰（隠れキリシタン） |
| 鎮国 | …キリスト教の禁止、オランダ、出島、長崎、貿易・情報を独占、清・朝鮮、発展が遅れる |

★ 解答例A

○大名の配置

- 江戸幕府は江戸から近い位置や重要な位置に親藩や譜代大名を配置するなどの領地替えを行いました。これによって、外様大名は江戸より遠い位置に配置され、参勤交代ではお金がかかるようになりました。こうして江戸幕府に反抗しにくくさせることにもつながったので、江戸幕府が長く続くことになったと思います。

○武家諸法度

- 武家諸法度で毎年4月に参勤交代を行うことが決められました。また、500石以上の大船をつくってはいけない、幕府に許可なく勝手に城をつくってはいけない、許可なく大名同士で結婚してはいけないなどが決められました。こういった大名への制限を行うことで、江戸幕府が長く続いたのだと思います。

○参勤交代

- 武家諸法度で定められた、毎年4月に大名列を行うことは、特に外様大名のように遠い位置にある大名は多額の資金が必要でした。また、大名の妻や子を江戸に人質として住まわせなければなりませんでした。このように参勤交代を行うことで、江戸幕府が長く続いたのだと思います。

○身分制度

- わずか7%の武士を多くの農民や町人が支えていました。生まれつきの身分は変えられず、農民は朝から晩まで働く、麻と木綿の服、酒・茶は禁止され、女性ははた織に励むことが奨励されました。また食事は麦・あわ・ひえを食べるとき、米は年に数回のみとされました。身分制度は武士にとっては都合のいいものだったけど、農民にとっては辛い制度だっただと思います。

○キリスト教の禁止

- 幕府への反抗を恐れ、キリスト教を禁止し、鎖国を行って宣教師を帰国させました。また、

天草・島原の乱（大きな一揆）をきっかけに禁止をいっそう強化し、絵踏みをして隠れて信仰しているキリスト教徒の発見に努めました。幕府がそこまでする必要はないと思います。

○鎖国

- 江戸幕府はキリスト教の禁止を行い、長崎の出島でオランダと貿易を行いました。また、幕府は貿易・情報を独占しました。幕府は大きな利益を上げることができたけど、貿易と情報が限定されたのはよくなかったと思います。

★ 解答例B

○大名の配置

- 江戸幕府は信頼のある大名を江戸の近くに配置し、外様大名を遠くに配置しました。これは幕府に反抗しにくくさせることにもなったので、幕府が長く続くことになったと思います。

○武家諸法度

- 武家諸法度は幕府の許しを得なければいけないことも多く、大名は大変だったと思います。でも、大名への制限を行うことで、江戸幕府が長く続いたのだと思います。

○参勤交代

- 大名列は多数の人々が列になって1か月以上移動します。とてもたくさんのお金を使いました。このように参勤交代は大名にとってすごく負担をかけました。でも、幕府に反抗する大名はいなくなり、江戸幕府が長く続いたのだと思います。

○身分制度

- 少ない武士を多くの農民が支えていました。農民は朝から晩まで働かされ、苦しい生活をしていました。農民は辛かったと思います。

○キリスト教の禁止

- 幕府への反抗を恐れ、キリスト教を禁止しました。絵踏みを行って、隠れながら信仰しているキリスト教徒の発見に努めました。幕府はやりすぎたと思います。

○鎖国

- 江戸幕府はキリスト教の禁止を行い、鎖国を行いました。鎖国をしたので外国の情報が制限されて発展が遅れてしまいました。それが逆に幕府を終わらせることになるのだと思います。

★ 解答例C

○大名の配置

- 大名の配置を工夫したので、江戸幕府が長く続くことになったと思います。

○武家諸法度

- 武家諸法度は厳しくて大名は言うことを聞かないといけなかったのは辛かったと思います。

○参勤交代

- 参勤交代が通ると、宿場の人たちは頭を下げなければいけなかったので、町の人は大変だっただと思います。

○身分制度

- 身分制度によって農民は辛かったと思います。

○キリスト教の禁止

- キリスト教を禁止するのはよくないと思います。自由にすれば不満もなく、一揆は起らなかつたと思います。

○鎖国

- 外国との付き合いがないので、閉じられた中での政治は幕府にとってはよかつたけど、一般の人にとっては何のよさもなかつたと思います。

8 成果と課題

(1) 成果

① 4段階の各学習過程を伴う問題解決的な学習を取り入れた学習活動

第一次は、年表や資料を使って「江戸時代はなぜ長く続くことができたのか」という単元を貫く学習問題をもち、三武将の取組に注目させた。さらに、第二次は昔の知立に東海道が通っていたことを意識させ、江戸の政策を調べる意欲付けを図った。この導入によって、人物の営みを意識しながら問題解決的な学習が継続できたと考える。また、調べ学習を支援し、評価によって個々の学習状況を把握することが、後の話し合いに有効に作用したと考える。

② ワークシートによる学習支援

調べ学習は学習内容が拡散する。また、基礎的事項の共有化を図る必要もある。習得させたい用語や事実を確認するコーナーと考えさせたいワークシートを工夫することで、知識を共有化し、拡散した学習内容を焦点化して考えどころを生み出したり、話し合いを活発化させたりする発間に至ることができた。

また、各シートに記述された内容は、児童が何を調べ、何を分かっているのかを知ることができ、その評価を指導に生かすことができた。

③ 協同学習における話し合いの設定

問題解決的な学習の過程において、調べた事実を基にして考え、考えたことをお互いに表現し合った。第一次「武士の世の中を確立させたMVBを決めよう」、第二次「江戸幕府はなぜ長く続いたのか」という学習問題に対し、支配者の立場だけでなく、被支配者の立場からも考えることで、その政策の意義を見つめ直し、当時の人々の思いを深く考える契機となった。そして、他者との表現活動により、考え方の視野を広げ、立場を変えて社会的事象を考察することができたと考える。

(2) 課題

① ワークシート作成の在り方

調べ方やまとめ方の学び方を指導することを意図して、ヒントの多いワークシートを作成したが、中にはうまく活用できない児童もいた。ヒントの多さをどの程度にするかも依然として問われる。詳細なものにすると、調べ学習をさせた意味がない。個々の調べを把握し、授業に生かすためにはどのようなワークシートにすべきかをより考察したい。

② 時間数の確保

4段階の学習過程を伴う問題解決的な学習は、時間数がかかってしまう。ほとんどの児童は興味を持続ながら授業に臨むことができたが、中には「同じことの繰り返しで飽きてしまった」と表現した児童がいた。テンポよく解答を吸収したいという意欲をもつ児童のよさを引き出しながら、また、教科書の基本的な語句や知識を確実にマスターさせながら、限られた時間数で授業展開を行っていく教材開発のスキルを磨いていかなければならない。

③ 話し合いの授業をコーディネートする教師の力量向上

話し合って、他者との考えを比較することは歴史の多面的・総合的な見方を育て、思考力・判断力を高めるのに有効であることは、単元終了後の感想からも明らかである（資料21）。そのためにも話し合う学習問題に対し、各自の児童がどのような意見をもっているのかをワークシートで把握することは当然のことである。その上で学習問題に対する個々の意識のズレを見定め、授業の中で顕在化せながら議論を盛り上げていくための教師の力量がますます問われる。児童が話し合いに慣れるとともに、教師がいかに話し合いをさせていくことに慣れるかが、問題解決的な学習を成功させる鍵となる。

そのために日々研さんを怠ってはならないと改めて感じている。

資料21 単元終了後の児童の感想

江戸時代の最初の時は、まだ人物のことが分からなくて、困っていたけど、一人調べノートやワークが始まってから、3人の武士のいろいろなこととかを調べたりして、すごく江戸時代の興味をもちました。私は、3人の武士の中で、豊臣秀吉の政策などに興味を特にもちました。MVBのでも、秀吉おばんで、調べたりしました。話し合いの時に他の武士の知らないところがいっぱい。いでて、3人ともすごいことをしていることが分かりました。江戸幕府が長く続いた政策とかの話し合いでても、いろいろな意見がでていい点と悪い点が平等ぐらいにあり、私は、おどろきました。でも、いろいろなことを予想したりして、すごく考えるのが、おもしろかったです。江戸時代は、これまでの時代の中で、いろいろなことがでてきたりして、おもしろい時代だなと興味をもちました。	どの武将も、それぞれ独自の政策で工夫をしていたんだと思います。でも、どの政策もいいというような完璧な人はいないので、それなりの反発もある。ただうけれど、それを乗りこえ、いったから安定させられたんだろうと思います。また、江戸幕府の政策を幕府、大名、農民、それぞれの立場に立ってメリット・デメリットを比べた時には、たれもがメリットばかりあるわけではなく、どこが分かりました。池鯉鮒宿の人々の気持ちを考えた時には、大名行列に土下座をしなければいけないのが「いやだ」という意見と、「いつか来てくれるようにならね」という意見があり、どちらの意見もあって、どちらが正しいのかはまよいました。それぞれの立場から考えるといろいろなよさ悪さが見えてきました。
---	--